

第九回公演の特色

- ・本会は、大学生とシニアが一緒になって、伝統芸能公演（神楽）を成功させるために頑張る、ボランティア団体です。今回の特徴は以下のとおりです。
- ・留学生が実行委員長になったこと。
- ・これまで埼玉県内の伝統芸能を紹介してきたのですが、初の県外公演を実現していること。
- ・夕公演の外国人入場目標を100席（346席のうち）と設定して、広報しておりますが、70席まではカウントできていること。
- ・次に、本公演で、初のツアー会社（株式会社ぼけかる倶楽部）が入りました。これは、ボランティア公演に対して、高い評価をしてもらっただけでなく、東京から新しい客層が観光バスでご来場されることを意味しています。
- ・私どもと出演団体の故郷であります、厚木市とがしっかりと交流できて、厚木市から市民がバスに乗って、ご来場くださること。
- ・また、伝統芸能（神楽）の比較の点では、埼玉県南部の神楽社中の多くが「相模流里神楽」との関係性を語ってくれます。今回は、そのルーツである相模の神楽を招きました。いわば、本家を招いたので、比較公演という視点が用意されています。
- ・現状では、昼公演はほぼ満席です。夕公演もほぼ満席ですから、盛況感はあると思います。
- ・今年も、新しい挑戦をしているので、その姿をご紹介してもらえると大変ありがたいです。
- ・公演に出演される垣澤社中（神奈川県厚木市酒井）の皆さんは、神楽の過去・現在・未来という視点から神楽演目を選択されています。新作面芝居、新作神楽が披露される点も注目していいでしょう。